

新川駐車場の指定管理者候補者選定における面接審査

【八幡浜商工会議所（以下商工会議所） 説明】

商工会議所：新川駐車場は、当時の商店街利用者の駐車場が不足している状況を改善するため昭和50年2月に供用開始した。その当時から、商工会議所が管理業務の委託を受けて、平成18年からは指定管理者として管理運営を行い、利用者からも安心して利用していただいていると考えている。河川の上に設置された特殊な構造の駐車場であり、利用者の脱輪や転落、台風時の監視など、24時間体制での対応が必要になる場合もある。人員配置は、商工会議所の常勤職員1名と管理人4名で運営し、できるだけ費用を削減しつつ、全体を把握できる管理体制としている。

これまでの運営実績としては、駐車場の設置目的を踏まえて、商店街のイベント時にはのぼりやチラシを設置するなど、駐車場の利用促進と商店街の活性化に取り組んだほか、今年10月の料金改正についても、市と協力して市民への周知に努めた。また、安全に利用していただけるように、管理人による駐車指導や監視も実施している。

【質疑応答】

委員：管理人の人件費は最低賃金をベースに算定しているとのことだが、今回の最低賃金の引き上げには対応できるのか。

商工会議所：増加分については、予備費の中で対応したい。

委員：利用者からのクレーム等があれば聞かせてほしい。

商工会議所：管理人の注意の仕方が良くないという意見があったため、丁寧に接客するよう指導したうえで、市の担当課にも報告した。

委員：「みなと」の完成など、周辺の駐車場の状況も変わったが、新川駐車場の必要性について、管理者としての意見を聞きたい。

商工会議所：「みなと」の完成で八幡浜港周辺の駐車場不足は改善された面もあるが、花火大会などイベントによっては「みなと」の駐車場が全く使えない場合もあるし、商店街利用者や近隣住民にとっては有用な駐車場であることに変わりはないと考えている。

委員：料金の回収率を上げる方策として、プリペイドカードの導入等は検討していないか。

商工会議所：システムの導入費用に見合うかという問題もあるが、近年は回数券の使用が伸びて、全体の約半分になっており、回収率もある程度改善できていると考えている。

委員：クレームがあった場合の対応と具体的な事例について教えてほしい。

商工会議所：先日の事例としては、道路にはみ出して駐車した車に、区画の中に駐車してもらうよう注意したところ、不快な印象を与えたとの案件があった。クレームは匿名がほとんどで詳細が分からない場合もあるが、連絡を受けたら直ちに現場に行って事実関係を確認し、相手の立場に立った対応を心がけるよう指導している。

【採点】

【結果報告】

八幡浜商工会議所 合計 422点(600点満点)

八幡浜商工会議所を、新川駐車場の指定管理者候補者として市長に報告することについて、
全会一致で決定。